





H U M A N I N O W  
がんばってます  
No.354

学生時代は人見知りで引っ込み思案。先生から授業中に指されると、顔を赤らめるほど、人前に出るのが苦手な青年でした。このままではまずい、と感じたのが大学進学のとき。自分が大学進学のとき。自分がを変えようと始めたのが「落語」でした。大学の落語研究会、いわゆる「落研（おちけん）」に所属しました。

初めての高座は今でも忘れられないくらい、緊張していたことを思い出します。頭が真っ白になり、気づくと舞台を下りていました。そんな具合で落語を始めた訳ですが、場数をこなすうちに、人前に出るのも慣れていきました。

月日は流れ、会社を退職。「落研」に所属し、落語を続けていましたが、いつしか忙しくなり落語から足が遠のいていました。

60歳の時に落語に再挑戦することにしました。今までやつて来た「上方落語」のネタを捨て、「江戸落語」を一から始めました。落語は同じネタでも高座にト雷には最高のツールです。落語を覚える頭はフル回転。だいたい半年で1話を覚えます。元ネタを原稿に書き写し、読みながら覚え、丸暗記した原稿をひたすら繰り返します。ここまで約4か月。それから仕草を付け、練習を重ね、ようやく完成です。

現在では20話ほどのネタを書いています。最近は「振り込め詐欺」や「笑いと健康」など時事ネタなども取り入れ、年間30回ほど高座を行っています。今後の目標は、邑楽町で落語仲間を増やす、落語グループをつくること。そして、夢は中央公民館「邑の森ホール」で仲間たちと高座を行うことです。

**■現在何をしていますか？**  
自分の続けたい硬式野球、そして将来のことを考えて進学先を決めました。埼玉県の大学へ通っています。現在、法学部の大学1年生です。

**■大学で野球を続けた理由は？**  
中学生まで内野手でしたが、高校で投手に転向。これが転機でした。それまで以上に野球が楽しくなり、大学で野球を続けることを決意。現在は130人の仲間たちと日々汗を流しています。目標は1日でも早く、1軍のマウンドに上ること。



ふれあいサロンや地区の公民館などで高座を行う、扇谷さん

## 邑樂町に笑いを 落語を始めませんか



扇谷 典男さん  
(水立大黒・23区)

おおざなに・のりお●1950年生まれ。奈良県吉野郡出身。大学で「落語研究会」に所属し、上方落語を勉強。大学卒業後も会社の「落研」に所属し活動する。その後、ブランクを経て、60歳で江戸落語に挑戦。現在は、『三洋亭大笑』として、県内外で年間30回の高座を行っている。

### ・若・者・紹・介・



木村 竜太朗さん 18歳  
Kimura Ryutaro (前原・4区)

#### ■現在何をしていますか？

オフの日は、夏はプール、冬はスノーボードでリフレッシュ。部活も勉強も大切ですが、大学生生活も満喫したい。余裕が出てきたら、まずはバイト。買いたい物がたくさんあるので、ここでは割愛…(笑)。もちろん将来のことも考えて、勉強も頑張ります。

夢は邑樂町役場で働き、もっと町を良くすること。自分の地元に恩返しをしたいです。野球で鍛えた精神で、夢の実現に向けて、大学生活も一球入魂(笑)。



# DREAM 夢